

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ ( / )
項目名 キノコ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1715.53	kinoko (Kinoko が多いに 10に1割合)	
1743.70	コケ" (稀)	キノコ
1744.60	キノコ < コケとは <u>全然</u> かわぬ >	
1757.61	キノコ < <sup>コケ</sup> キノコともいう >	
1781.95	キノコ < コケとは かわぬ >	
1791.33	キノコ (コケとは かわぬ)	
1862.48	キノコ < 「コケ」という言葉もあるが、「キノコ」を多く使う。 >	
1862.52	コケ キノコ	3.7割はコケ。コケは食べられないものもあるが、キノコは食べられるもの。

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(2)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
2783.48	NR ひく <sup>7</sup> めた名なし	
3745.62	“フノゴ” (「フノゴ」と <sup>7</sup> 南えたのて: 刺き直し キノゴ たら キノゴと <sup>7</sup> なった。)	
3746.09	誘 kinoko	
4588.98	koke <希>	mimi
4589.83	koke <新>	mimi
4598.33	koke <新>	mimi
4598.59	mimi <古>	koke
4598.74	koke <新>	mimi
4599.31	koke <新>	mimi

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ ( 3 )
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4609.68	modasi < キゴハ 鶏冠 a=b >	
4637.20	modase < 古 > < 希 > (南魚沼郡湯沢町大字土樽に. modasi という語あり. 独立しては用いず. Sugimotasi (杉の古株に生える一種の きのこ) という語の一部となつてゐる.)	
4637.68	kinoko < 075 で かわら棒に koke も使うが それ外も kinoko に多く用いさ > KOKÉ	
4638.22	kinoko < 多 > kōke < k.uj=b to tan'itau >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (4)
項目名 きりこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4638.43	kinoko < 友人に対してはこれを多く用いる > koge < 希 > < 共 > kogerui (総称) (kinoko, koge も 総称で ある。)	
4648.42	kinogo < 古くから用いられ、今も普通これをいう。 > koke < 特 >	
4653.02	mi <sup>7</sup> mi < シーゲミミなどともいう >	
4658.42	koke < 希 > < 共 >	kinogo
4665.87	kinoko < kinoko は「木にけに生える koke と。説明して。 > koke	
4666.51	koke < 古-現 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	(5)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4672.19	mimi < 若い時から盛んに用い、今もこれを最も多く用いる。子供に対しては青年に対してもこれを用いる >	
4675.45	koke < きのことほ かわない >	
4676.42	キノ (多), コケ (希)	
4686.52	koke 昔から今まで用いている。	
4686.96	koke < 希. 彩 > < ? 戦争中から用いる程に なた >	kinoko
4687.01	kinoko < 昔も今も多く用いる > koke < 希 > < 昔. koketori 宛. 熟語として多く用いた。今は少。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。◁

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (6)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4694.26	kinoko < 若い時から, 今も用いる > koke < 子供の時は用いることが少かった。 > < koke tori ということばがある >	
4695.33	kinoko < 若い時から <sup>用い</sup> ずと, 今も主にこれを用いる。 >	
4695.87	kinoko < 形 > (別の言い方はありませんか) 質問に対して反対。	kinoko
4696.82	kinoko < 形 >	kinoko
4723.14	kinoko (食用), busi kinoko (毒)	
4736.63	kinoko < この島にはない >	
5462.57	# 94 < 食用にシタケ, 毒はクツタケ >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 099	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(7)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5463.64	タケ < 食用 -- サマケ, マツタケ, シイタケ, ネズミタケ 毒 -- トゲタケ >	
5472.31	タケ < 種類少く (食用) マツタケ, ノメタケ, (毒) クソタケ など >	
5472.91	take < 古 >	k <sup>s</sup> inoko
5508.16	koke < 新 >	mimi
5508.19	koke (質問しなかつたが)	
5517.78	コケ 0775 コケは「きのこ」	
5536.99	コケ 同 上	
5538.50	コケ 同 上	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きりこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	( 8 )

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5538.88	コケ 0778 「きりこ」	
5539.43	コケ 同上 「きりこ」をコケと云う。	
5547.96	コケ 0775 コケ(きりこ)	
5559.51	コケ (77)	
5564.79	コケ (77)	
5565.12	コケ 0775 コケは「きりこ」	
5566.95	コケ 同上	
5567.46	コケ (77)	
5568.57	コケ (77)	
5574.42	コケ (77)	



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (9)
項目名 キアコ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5574.42	コケ (77)	
5574.79	コケ (77)	
5575.55	コケ (77)	
5575.93	コケ (77)	
5576.60	同 上	
5577.88	同 上	
5578.27	同 上	
5579.10	同 上	
5584.22	同 上	
5584.57	同 上	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(10)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5584.57	コケ (77)	
5585.09	同 上	
5585.63	同 上	
5586.56	同 上	
5586.70	同 上	
5587.74	同 上	
5588.78	同 上	
5588.81	同 上	
5589.30	同 上	
5591.60	ワサビラ <ケ>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	(11)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5594.37	コケ (77)	
5595.89	クケ, コケ ← 077より Tak.	
5597.78	コケ (77)	
5598.53	同上	
5598.67	同上	
5599.41	同上	
5599.75	同上	
5602.99	koke < kinoko (不便な) >	
5603.35	koke < 多. 昔の便, >	
	kinoko < 少年時代 便, したこともある >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (12)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5604.52	kinoko < 古くから用い、今も多く用いる > koke (新) < 昔は使われなかった。箱崎 方面から入ってきたことばで ある。 >	
5604.65	キノコ } < 昔から両方の言い方があった。 コケ } 今ではキノコの方を多く用いる。 >	
5605.11	koke < 上 > < 共 > < 地所の人に話した時に用いる > kinoko ---- < 普通の場合に多く用いる >	
5611.39	koke < 子供の時から用い、今も盛んに用いる >	
5613.33	koke (「外に言い方はありませんか?」に反対する) < 昔からこれを使い、今もこれも多く用いるかも知れない > < 一般の人は koke-tori といい > (上の「一般の人」がはっきりしない)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (13)
099	245		
項目名			
きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5613.53	koke (友人間で使う)	
5620.80	コケ (77)	
5621.43	kinoko (多) <これが古言葉の方がも知れたい> koke <土地の一般の人はこれを多用することが多いかも知れない>	
5623.85	kinogo <こまは go ertil> (キノゴをゴと発音していること)	
5624.85	tjinoko <古>	kinoko
5703.68	kinoko <キノのよりに何本も植たまわっているものは moda si という。>	
5711.85	take <希> <「も」takeが去たこ3た」なとていうことある。>	kinoko

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は数密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(14)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6287.42	naba <古>	kinoko
6287.71	<sup>食用のもの</sup> 総称なし。 <naba p kinokoを単独に用いることは doku take ない。 dokunaba, si:take, matsutake <sup>毒茸の総称</sup> などとい)。田舎では naba も使う村 = 思ふ。>	
6338.99	タケ <松たけ = ナハ>	
6339.86	タケ <毒茸 = ツタケ>	
6348.77	キノコ <ナハという赤色がある> <毒茸 = ドクキノ>	
6349.23	タケ <茸狩 = タケ。コキノ <sup>(行)</sup> >	
6349.80	naba <新>〔古〕	kinoko
6356.98	ナハ <女の語>, ドホオ <古>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(15)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6357.38	タケ <毒茸 - クソタケ> <作家人 - ナハシ>	
6358.43	キノ <キノコツク木 - ナハキノ>	
6368.59	ナハ <こく少ない>	キノ
6377.11	トホ <sup>オ</sup> <舌>, ナハ <舌>	
6377.65	ナハ <木に生えたもの> クサヒ <sup>ウ</sup> <地に生えたもの>	
6379.68	ナハ (例えは マツタケナハ)	キノ
6401.89	・総称はない ... <個別に名をえう。マツタケ等> クソタケ ----- <毒茸>	
6402.94	・総称なし > ... <マツタケ, イマタケ(めし?) など> クソタケ ----- <毒茸>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	(16)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6407.28	タケ きのこは タケカ 起伏型 ) アレンジの 竹は タケカ 平板型 ) 異なる。	
6408.72	mi「mi <古>	take
6410.77	タケ <毒茸 = タケ>	
6412.12	・総称なし <マケタケ, ハタケ, など個別称> トケタケ <毒>	
6414.25	kinoko <木に生ずるきのこをい>	take
6415.78	take <おたけ, しんたけなどの称にお茸のみをい>	kinoko
6415.83	kinoko <古>, take <新>	
6418.75	タケ <共>	ミ



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (17)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6419.09	ツチゴロ <古, 希>	キノ
6420.58	ササキノホ <多>	キノ
6422.77	キノ <コオキノが多い> ササキノ <名のつがないの>	
6422.93	キノ <新> , キノ <古>	
6423.75	take , kinoko <キノもキノも同じものをい>	
6424.20	take <土の上に生えるもの> kinoko <木に生えるもの>	
6424.89	kinoko 湯原町産, 豊原 take	
6424.92	キノ <音>	キノ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (18)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6428.13	タケ < 新上・共希 >	ミミ
6429.61	タケ < 希共 >	ミミ
6429.65	タケ < 新共 > < 最近に椎茸栽培を目的に たこが、タケもよく言われるようになった >	ミミ
6430.53	ササニホ < 古 > < 食用。77タケ、シロタケ、ネミタケ などがある >	
6431.41	ササニホ < 稀 >	ナハ
6440.67	ナハ < きに狩り — ナハコキ >	
6443.61	ナハ 魯 < 松茸以外ではナハが普通 > タケ 希	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(19)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6449.20	take ㇿㇿㇿ・ㇿㇿㇿ・ㇿㇿㇿ ap s ㇿㇿㇿ を、ひくめてㇿㇿとい。	
6449.84	NR (総称の「いし」)	
6453.64	ナハ <若い者はㇿㇿとい。これは(やが)といふ。>	
6458.40	? ㇿㇿ <ここにはない>	
6459.29	ZOOTAKE <ㇿㇿㇿ、ㇿㇿㇿ以外の食用菌を HATAKE ㇿㇿㇿ、或はハㇿㇿと呼ぶ。>	
6464.90	ナハ <古、上>	ㇿㇿ
6467.73	mattake ① * take mattake	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 099	地図番号 245	A 普通注記 ページ [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (20)
項目名 きのこ		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6469.19	シバハヤ <古>	マツタケ
6470.11	na'ba <古>	kinoko
6476.13	アイタケ <普。但しこれには マツタケは含まれない>	
6476.92	ハツタケ 但し マツタケは 29中 に 含まれない。	
6476.93	ハツタケ この地域では マツタケ も 含まれない。	
6477.02	マツタケ ... <この内、特に松茸を除く他のキノコは サマツタケ、又は サマツ という。 キノコ 類の 最も 早く 出る 小形の キノコ キノコ 類の 最も 早く 出る 小形の キノコ キノコ 類の 最も 早く 出る 小形の キノコ を ホンマツタケ という。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A) 普通注記	ページ
項目名 きりこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(2/1)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6479.51	hattake (毒あじは. 毒あじは. あじはという. 総称也)	
6480.91	ちハ < 夢 >	チノ
6482.75	naba < 毒きりこは dokue naba という >	
6484.43	ハノタケ < この場. マノタケだけは除いた 他は全て含む。た島県ではチハ という。 >	
6484.78	ハノタケ 但し ハノタケの中には マノタケだけは 含まれない。	
6485.14	ハノタケ < 但しこの場合. マノタケだけは含む >	
6485.80	ハノタケ 同 上	
6485.82	シメジ (一般に「ヤマシメジ」= 玉と書く。 シメジ 平仮名, シメジ 片仮名, シメジ 漢字) トクダケ (トクダケ, マノタケ以外のものを 含む) 琴平山 (象頭山) にもいる。(マノタケとトクダケはシメジの中に入るとする)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (22)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6486.93	シメシ --- {松茸以外の傘いられる茸すべても含めていう。総称というとき少し異なる所がある。シメシの代わりにハツタケとりにはハツタケ<希>ともいう。	
6487.43	ハツタケ マツタケも毒タケの各地も全てを含めていう。	
6488.48	NR (総称なし)	
6491.49	hatsutake (きのこの総称である。matsutake } などは (ハツタケ) ともいいう。 silitake } いう由である。	
6492.11	(?) hat:ake (hatsutake ではない由。近頃の岡村島・大島・伯方島・岩城島・生名島では naba かと (?) をつけたのか 山田正記氏の報告(方言2-6)には香川県栗島・志島・直島・屋島ではハツタケといっている。とある。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(23)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6494.08	ハ→タケ 〈但しハ→タケの中はマ→タケ(松茸)は入らない。〉	
6494.21	マ→タケ 〈29島にはきのこは全然生えない〉	
6494.55	マ→タケ 〈ア+ アカイマ→タケかハエトラなどという。〉	
6497.77	mattake 毒のものは dokumattake	
6500.83	クサビラ 〈ク〉	マ→タケ
6500.88	kinoko 〈毒のものは dokutake kusabira とい〉	
6503.66	コケ 077 ㄱ	
6504.01	コケ (077)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(24)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6505.58	ミミ < きのこをミミという >	
6505.60	kusabira < 多 >	take
6506.55	コケ (77)	
6507.48	コケ (77)	
6508.36	同 上	
6509.38	同 上	
6509.43	同 上	
6509.91	コケ < 希. 地 >	キ / コ
6510.65	キ / コ < 少 > 総称は余り用いない。	
6511.85	mattake < 但し土は地面から生える キノコ >	



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	(25)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6512.14	・総称なし } ... 食用にならないものは kusabira kusabira	
6514.61	mattake (食用にならないの総称らしい) dokumattake } (食用にならないものをひくことで magusomattake } 言うようである。) (総称は得られなかった)	
6515.24	・総称はない } < 毒きのこ一般を マツマツケとい > kuso-mattake	
6516.10	ミミ < ミミとは コケのこと > コケ < 稀 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	(26)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6516.15	コケ (97)	
6516.85	タケ <他>	コケ
6517.31	コケ (97)	
6517.65	同上	
6518.30	同上	
6518.87	同上	
6519.43	同上	
6520.50	NR <総称はなし。キノコとシタケは知っている>	
6521.20	kusabira (但し、mattake 松茸を除いた あとのもの)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ  (27)
079	245		
項目名			
きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6521.94	マツタケ (?) 総称はほっきりせぬ。キノコとはいわぬ。	
6522.03	キノコ タケルイ	後向の仕方の要だったのか、明確な答えが得られず、「キノコは去いませんの」と言ったところ、「そんなのはタケ類中のキノコともいう」とあった。
6522.79	クサビウ	皆が用いる。従ってキノコは用いる。
6522.93	マツタケ	シタケはマツタケの中に入れないふた。
6524.01	mattake <食用にならない総称> } (総称は dokumattake <食用にならない総称> } 得られない)	
6524.66	mattake <食べられるもの> } (総称はない dokumattake <食べられないもの> } ようである)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	(28)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6526.45	NK < 鮎に総称はない >	
6526.98	マツタケ < きのこ 総称としても使う >	キノ
6527.22	mattake < 共通語の「まつたけ」ではなく、きのこの総称である。 >	
6530.23	キノ < マツタケを除いて他のタケ類を総称キノと呼ぶ >	
6530.58	キノルイ < 共 >	タケルイ
6531.53	#キノ < 希・共 >	
6533.89	zo:take ( 総称は答えなかった。但し、松茸以外で食用になるものをひくためマツタケという。と答えた )	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	(29)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6534.13	take 〈食用—mattake, 有毒—dokumattake〉	
6534.37	mattake 〈古〉	
6534.41	zo:take 〈食われぬものをひくおと。〉 (きのこ総称はなはい)である)	
6534.85	dokumattake 〈有毒のもの〉 mattake 〈食用になるもの〉	} この両者を使うのが普通である。
6535.73	mattake 〈食用になるもの全に〉 koemattake 〈食用になるもの全に〉	} (総称なし)
6535.90	#mattake (食われる) dokumattake (食われぬもの)	} (「きのこ」の総称はなはい)

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (30)
079	245		
項目名			
きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6536.32	ʃimedzi (種類を言わないで、これは総称である。と念を押した。)	
6536.68	take <音>	
6537.21	ʃi:take <これは kinoko の総称であり、「したけ」のこともある>	
6537.58	koke <地> <土地の農家の人がよくいって 25% 使う。>	kinoko
6538.02	kinoko <84に zo:kinoko といふ語がある? これは食われるものだけ? しかも「まつたけ」「こしたけ」は中に入らない>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語 (3/)
項目名 キノ		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6541.27	キノ [ホニマツケ 即ち共通語の松茸、椎茸、毒茸も一切をマツケという]	
6541.52	NR 〈キノともいわない〉	
6541.66	マツケ 松茸以外のマツケ	
6542.27	キノ〈部〉 総称は昔からのコトハとして はっきりした語形がわかないという 答を待た。	
6542.32	マツケ〈少〉 総称ははっきりわかないという。	
6542.71	▲ 総称なし 食用茸は各々名がある。 kwsomattake 毒茸	
6543.56	キノ〈少〉 総称は普通、余り用いられない。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (32)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6544.26	zo:take < nattake以外の食用茸 > dokumattake < 有毒茸 > } ? 総称 なし	
6545.88	kabi (同席した奥さん(60才位)が驚いて、そんなことは去わぬと主張したか、確かにこういふと去った。ほか、奥さんはtakeという。)	
6546.15	タケ < タケトりに行く、たけのこのほか、他の語と合して使う。タケとだけ単独に言うことは殆んどない。 >	
6548.82	コケ 078 参照	
6551.18	キノコ < タケという人もある >	
6551.52	NR < マリタケはマタケ、シメタケはシメタケで総称はない >	



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ ( 73 )
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6552.71	マツタケ ... 分布より食用茸の総称と認む Tak. トクゾウ < マツタケ以外の茸はトクゾウと言ひ、それ の総称はない >	
6552.88	mattake < 毒のは含まない。又、「しいたけ」も 別のものと意識している >	
6552.90	mattake < 「マツタケ」。但し総称としての意識は ない。他に言ひがたない。「キノ」を 使わないから。 >	
6553.22	mattake < これは「きのこ」の種類名だが、また総 称にも用いる。「毒茸」は「クサリマツタケ」 という。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ  (34)
079	245		
項目名			
きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6553.47	▲ 総称なし < 食用になるものの個別的な名称 あり… シメジ, マツタケ, アンタケ, クロマク(クロコ) など。 > クソマツタケ < 食用にならぬものの総称 >	
6553.83	mattake < ふつうにいう「マツタケ」は「ホンマツタケ」, それ以外で食用になるものは「ソノマツタケ」 「シメジ」「ネスマツタケ」などがある。 食用にならぬものは「ドクマツタケ」 「ドクマツタケ」という。 >	
6554.08	NK < 一つ一つの種類を呼ぶときはあつた。全体を まとめて言うときは下い > (マツタケは当地で多量に産出し、調査当日も マツタケ狩りで賑わっていた。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(35)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6554.88	zo. take } < mattake 以外の食われるもの > kusabira < 古 > } kusomattake < 食われるもの > } 総称は ない。	
6557.36	[hattake]	
6560.22	NR < 名称なし ← おとな >	
6560.40	NR ( 総称はない )	
6561.49	NR < 総称なし。個別名を用う >	
6563.43	? mattake < 個別的名前は各々ある。最も 普通なのが「マツタケ」であるので、 食用費をとりに行く時は「マツタケ ヒキ」と言うから、総称として 「マツタケ」となる。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (36)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6563.58	mattake < 松茸のとは異なる。茸類一般。 > kusabira < 古 >	
6563.84	mattake < 松茸は hommattake, 毒茸は ketsune mattake. > kusabira < 松茸を除いた地をクサビラともいう >	
6564.33	? mattake < 「マツタケ」は食用中の最もよいもので、 他に食用には 沢茸、ワカク(里川皮の切物) があるが、それに類する毒茸は「クサビラ」 という。このクサビラを含めた総称は、 強いて去るは「マツタケ」というより他 にない。 >	
6564.51	kusabira < 食用、非食用に拘らず。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		(B) 除いた共通語	(37)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6565.22	タケ 〈多。八分迄タケを用い、 $\frac{1}{2}$ 分迄キコを用〉	
6567.79	hattake ひくぬてさう。	
6568.13	* hattake	
6570.89	マツタケ 〈毒あるものはドウマツタケ〉 〈但し椎茸のみはシイタケ〉	
6571.15	マツタケ 〈個別的には 00 マツタケ といふ。〉	
6572.04	30:take (食用に用るもの総称) ドウマツタケ (有毒のもの)	
6572.22	マツタケ (松茸の代表的なものだから言)	
6572.29	mattake (総称である)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(38)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6572.97	mattake < 食用茸の総称 > } < 総称はない > クサビラ < 非食用のもの > }	
6573.17	mattake < 食用… マツタケ、シメジ、ズクマツタケ、 ウシカマ (皮の黒いもの) 毒茸… クサリマツタケ >	
6573.71	kusabira < 「マツタケ」「シメジ」などは特に、その名 を呼ぶが、総称は「クサビラ」である >	
6574.06	? mattake < <del>食用茸</del> 食用茸の中で最もよく知ら れた「タケ」(いわゆる「マツタケ」)、「シメジ」「ノコギリ」 など個別の名もあるが、総称して「マツタケ」。 毒茸は「ドクマツタケ」。食用、有毒、両方含む 総称は別になく、言うならば「マツタケ」しか ないだろう。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (39)
079	245	
項目名		
きのこ		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6575.17	シイタケ < どれもこれも シイタケ で呼ばれていた。 目きかいて、それが 食べられないキノコや その他の種類を識別してくれ。 >	
6580.06	NR 総称なし	
6580.33	キノコ < 有毒のもの 総称は 7470 >	
6581.52	マシタケ < 食用 > ドクマシタケ } < 非食用 > 7470	
	( シイタケは 別の規格で マシタケの 食用種のみを 総称のようにある。 厳密には 個別の名である。 )	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 029	地図番号 245	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (40)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6581.68	クサヒラ 〈有毒なものにクサヒラという〉	
6582.12	・総称なし 〈食用のものは マツタケなど個別の 名をい。キノコは総称で主に マツタケのことをいっている。〉 クサヒラ } クソタケ } 〈有毒のものは ひくちめクサヒラとか クソタケという。〉	
6583.41	kusabira 〈マツタケやシロタケは きのこ一種。 有毒のものは ひくちめをい。〉	
6583.45	take (毒キノコをクサヒラとい。食用キノコの種類 を沢山挙げておく) )	
6590.87	キノコ 〈有毒のものの総称はクサヒラ〉	



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	<input checked="" type="radio"/> A 普通注記 <input type="radio"/> B 除いた共通語 <input type="radio"/> C 除いた特殊語	ページ (4/)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6591.02	? キノコ	
6593.30	誘 kusabira <毒茸>	kinoko
6593.98	kusabira (有毒無毒を問わず。総称的)	
6594.67	N.K. <学校では「キノコ類」と習ったが記憶が日常用いない。>	
6595.32	N.K. <この地では余り見ないがよく知られた>	
6607.03	kinoko <相模方言圏内では一般に[kinoko]。相模方言圏と東京方言圏とを区別する語の一つか?>	
6607.84	kinoko (相模方言圏内ではどうも[kino'ko]らしい。八王子、目黒区は[kino'ko]である点参照。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ② 除いた共通語 ③ 除いた特殊語	ページ (42)
079	245		
項目名			
きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6609.02	matsudake } 種類名。総称なし。 kinoko — 「雨時と造らぬもの; 木の えるもの。」	
6618.25	kinoko (今年各地点上大井の079は [kinoko]。 [kinoko] と [kinoko] の対立関係は 武蔵型と相模型の対立を示す一例と してあげてある。)	
6618.51	kinoko < 木へはるもの > } < 総称はない > hatsudake < 地面へはるもの >	
6621.57	kinoko 形。「椎茸だけ」の形。各々の形を区別 総称はもともとない。kinoko と tsutsjikinoko の区別だけである。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (43)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6628.23	kinoko <昔は総称はなから。>	
6630.82	kinoko <普通しいたけを言う> (こゝは椎茸の産地)	
6631.69	tsutsuminoko — 最も多く使う	kinoko, jamaginoko
6642.58	tsutsuminoko kinokoはしいたけをいふ。 しいたけ特産地であるから。	
6642.85	NR 総称なし。椎茸を特々 kinokoといふ。 ニホリタケ、クワタケ、シメジ、サマツ、ハツタツ などという。タケといふことはで総称はなから もなし。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (44)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6645.37	kinoko (いたけ, きくじつ'のぶ'ん 木にできるもの) tsutsujinoko (まつたけ, はつたけのぶ'じ'に 土に 出るもの。 (以上のもの ぬいご 加えたもの 全て 食用。)) dokui'take (有毒のもの 総称。)	全体としての総称はNR。
6650.12	ha'take きのこ 総称。 ma'take, simeji は 総称の中に入らないで割。 くそたけを kusō ba'take と書く。	
6650.70	ha'take (きのこは「まつたけ」だけしかない)	
6655.51	kinoko (いたけ, きくじつ'のぶ'ん 木に <食用の菌> take (まつたけ, はつたけのぶ'じ'に 土から出る <食用のたけ>)	

dokukinoko } (毒のもの)  
dokutake }

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	<input checked="" type="radio"/> A 普通注記 <input type="radio"/> B 除いた共通語 <input type="radio"/> C 除いた特殊語	ページ (45)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6656.31	si:take (食えるも食えないも。したけも。食てこう言う。)	
6665.01	si:take dokun no si:take のふうにする。	
6665.25	kinoko < キノコ >	
6697.49	kinoko < この形はキノコ形であるか? 古い形は思いの字はぬ >	
7268.15	naba cf. nabja:naru 1) 傘のオキヨコになる。 2) 西字、はらう。	
7266.92	kinoko きのこはキノコ。naba はキノコ型がぬ。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(46)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7338.48	naba <毒茸は dokunaba >	
7338.55	naba < dokunaba と同じ >	
7339.27	naba < naba tori ni iku > 953) に使う。	
7349.07	naba < naba-tori ni ikoja > などと同じ。 < honto: wa take de so: na > と云, 2072。	
7353.03	nama (複合語には ~naba もある。 n. mankyuso naba, dokunaba など)	
7357.64	take < 蕈 > < 椎茸栽培家の間から広まった言語 (7721 未詳) >	
7359.78	take < 蕈 >	naba

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (47)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7372.27	<?> ナ	ナハ
7373.92	ナハ < ナハをコケとはえはぬ > <?>	
7374.75	ナハ < コケは使わぬ >	
7393.62	キコ < ナハよりも古いことばと思ふ > (?) ナハ	
7394.85	naba < 地面に生えるを zi'naba. 木に生えるを ki'naba といふ >	
7400.11	hatake ( ことばを便りに使う。種類にも hatake のある? 種類をよびかたに < hatake tori ni iko ja > などという由。 )	naba

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(48)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7400.15	takekmi < 改まった木の言いの木に言 >	naba
7401.60	takemo <sup>n</sup> < . . . . . takemo <sup>n</sup> tori ni ikoja と言 >	
7401.11	zatsutake < aburatake, si: take, hatsutake などを用い。 matsutake は zatsutake の中へ含められている。 >	
7402.42	# kinoko (matsutake, hatsutake など 個々の名をあげ、仲々の区別が支那のつた。)	
7404.12	(?) gozadake # (1ヶ所に数多く集、2年生以上 のを言) & (matsutake, hatsutake, dokutake の区別に言、2. 余りまとめた言い方をしな。 と言っている。)	



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (49)
079	245		
項目名			
きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7410.57	take (個々の take 類は <tja-take>, <doku-take>, <matsu-take> と言う由。) (地域内には naba を使) のもある。)	
7411.27	take (<上浮穴郡の方では naba と言う> と言う、面白そうに格、2いた。)	
7412.26	naba 多	take
7412.71	dake <Futoi mono> simezi <komai mono>	
7415.47	[naba]	kinoko
7420.18	naba, take ... <2811ない> kinoko ..... <matsutake のおこなと派 なのを言う。>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(50)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7421.38	kinoko < ki:i haeku mono zakeru: > ( <naba> wa ナバ/キノコなどの毒を 言う。(い。)	
7425.27	# dake	
7427.24	NR (077sでコケが去たので使用せず) 077 koke < 毒T-けを言う > ← 不採用.	
7430.80	naba (きのこが多い産地を nabajama と言う由)	
7431.08	naba < 無毒のをいい、毒茸は dokunaba take dokunaba と言う。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (51)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7500.24	総称なし (食用になるものは マツタケ, シメジ など個別の名を用いる) クサビウ (食用にならないもの総称あり)	
7500.66	NR 総称なし。 < 各々の名をいう >	
7501.14	kinoko ... 食用 } kusabita } 有毒 } 総称なし。 dokudake }	
7503.11	? mattake < 食用になるものの総称。個々の名 としては mattake, si:take, simeji などがある。 > クサビウ < 食用にならぬもの > } 両方含む } 総称は不明。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (52)
項目名 キノコ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7504.27	takerui つけ類の意	take
7504.64	NR < 但し. kinoko では take 思ふ >	
7510.18	▲ 総称なし < 食用になるものは マツタケほど別々の名をいう。 > マツタケ < 有毒のものゝ総称 >	
7511.93	# キノコ	
7513.01	NR (総称名は無いようである)	
7513.15	誘 kusa'bi'ra < 毒茸 >	kinoko
7513.43	NR [総称名はない]	
7521.16	▲ 総称なし < 食用のものには マツタケ、ハツタケ、 シメジなどは 各々の名をいう。 > マツタケ } マツタケ } < 有毒なもの >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (53)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7522.48	・総称なし <食用のものは個別の名を言う。 キノコは 使用していない。> フサビラ } <有毒のもの> ドクダケ }	
7523.05	・総称なし。 <食用のものは個別名。> フサビラ …… <有毒なもの>	
7523.30	同 上	
7523.74	NK 総称なし。 takeともいふ?	
7533.11	・総称なし <食用菌は各々の名をいふ> フサビラ <有毒のもの>	
7659.53	si:take (椎茸しかない)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(54)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8229.96	<p>▲ 総称はない</p> <p>naba (nabaと最初答えたが、これは有毒なものというのであり、次に種類別9名シメシメと名を付した。)</p>	
8239.31	NR < 1084名で言い、総称はない >	
8300.80	十心 (コトとはえわらない)	
8305.76	naba < 木に生える菌と区別し、[dʒinaba] と云うこともある >	
8311.59	naba < 毒あるものは dokunaba と云う >	
8314.52	dʒi <sup>7</sup> naba < 土に生えるもの >	
	kinoko < 木に生えるもの >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(55)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8320.98	NR 〈総称はく、別列にいう〉	
8331.12	NR (総称は得られなかった)	
8331.98	NR 調心もじし	
8332.07	naba 〈古〉	kinoko
8332.84	naba 〈希〉	
8333.79	naba 〈希〉	kinoko
8333.92	kinoko -- 食用と有毒もの naba -- 毒あるもの	
8341.12	[kinoko〈?〉] nabaはサレ/コシカケの よなもの。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (56)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8342.35	kinoko [ <sup>有毒</sup> 食べないものは naba と呼ぶ ]	
8342.69	kinoko < 多 >, naba < といふ人もある >	
8343.97	naba キコとは 椎茸のこと。	
8351.07	kinoko < naba は 有毒のものといふ >	
8353.63	kinoko 食用のものだけ。 naba 有毒のもの。	
8360.39	NR ( simezi と答えたか 総称ではない )	
8361.31	kinoko naba... 食用とはいふ simezi... といふ } といふように用い。	



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ  (57)
079	245		
項目名			
きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8362.34	kinoko 毒のないもの } この2つは区別する。 naba 毒のあるもの	
8362.81	kinoko (kinogo と濁音化せず)	
8364.33	kinoko 食用のもの } この区別はあるが、総称 naba 有毒のもの } はない。	
0228.96	sĩmĩzi < しめじ ということでは? 総称 >	
0294.66	# na:ba	
0340.00	sĩmedzi < これを多く食べるので一般にシメジ と言ってしまう。 naba: naba: というコトバもあってこれは 有毒の菌類を指す >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (58)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1211.69	simidzi } 食用 mimigui } na:wa } 不食 majkusu }	} 総称はない -
1221.47	simidzi } 食用 mimigui } na:wa — 不食	} 総称なし。
1261.01	na:ba 総称(大きい) simidzi ... (小さい)	
1270.26	mimigui	< 「+ハ」といふ語はない >



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
079	245	[B] 除いた共通語	
項目名		[C] 除いた特殊語	( / )
きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4637.20	kinoko 〈新〉	modase 〈古〉〈希〉 (南魚沼郡湯沢町大字上樽に。 motaji と言う語あり。 独立しては用いず。sugi- motaji (杉の古株に住する -種きのこ) という語の -部となっている。)
4647.69	kinoko 〈英〉(「外に何と云いますか」と 向うに「おの返答」)	koke
4653.47	kinoko 〈英〉	mimi
4666.42	kinoko 〈新、英〉	koke
4666.51	kinoko 〈英〉	koke 〈古-現〉

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 きのこ		(B) 除いた共通語	(2)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4672.19	kinoko <共> <若い頃も少しは用いた>	mimi <若い頃から盛んに用い、今もこれを最も多く用いる。子供に対しても青年に対してこれをを用いる。>
4685.10	kinoko <共>	koke
4686.52	[kinoko] <新> <共>	koke 昔から今まで用いている。
4695.33	kinoko (新)	koke <若い頃からよく用い、今も主にこれを用いる。>
5568.22	<共> キノコ	キノ
5590.53	キノ <やや新しい感じ>	キノ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	(3)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5611.39	kinoko <共> (「外の言い方はありませんか」の返句に 対する反応。)	koke <子供の時の使い、 今も老人に用い>
5611.81	kinoko <稀> (稀)	koke
5612.39	キコ (共)(上)	コト
5613.33	kinoko <新> <青年になってから使いました>	koke (「外に言い方はありませんか」に 文字通り反応) <昔のこれを使い、今もまだ 多く用いるかも知れない> <一般の人には koke tori と云う> (この「一般の人」かは、きりしん)
5613.53	kinoko <共> (改まった場合使)	koke (友人向で使う)
6357.74	キコ <聞いた時のみに使う>	キコ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( ) [ ]は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (4)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6367.09	ナハ<松茸>, タケ<椎茸>	キノ
6377.65	キノ<糸>	ナハ<木に生えたもの> クサビラ<地に生えたもの>
6403.60	クソタケ<毒茸>	タケ
6409.71	キノ<共.希>	タケ
6422.16	クソタケ<毒茸>	タケ
6476.13	キノ<糸>	アイトケ<普。但しこれには アイトケは含まれない>
6489.01	キノ<糸.共.希>	クサビロ
6500.22	キノ<糸い感じ>	タケ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (5)
079	245	
項目名		
きのこ		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6506.03	キノコ 〈共〉	コケ
6508.06	キノコ 〈共〉	コケ
6511.85	kinoko 〈共〉	mattake 〈但し、椎茸は地面から生えるので含まない〉
6514.25	kinoko 〈共〉	mattake
6516.85	キノコ 〈共〉	コケ, タケ 〈他〉
6534.37	kinoko 〈共〉	mattake 〈他〉
6534.41	take 〈松茸〉	zootake 〈食べたては生で食べる。この総称はなっていない〉



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	(6)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6534.85	kinoko <英>	dokumattake <有毒キノコ> mattake <食用> <上記の二つを使いキノコが普通 である>
6536.68	kinoko <kinokoというキノコが普通>	take <キノコ>
6541.66	キノコ 松茸の注	キノコ 松茸以外のキノコ
6560.22	キノコ <キノコ>	NR <名称なしキノコ>
6565.22	キノコ <八分位キノコを用い。キノコは二分位>	キノコ <多。八分位キノコを用い。 おとキノコは二分位キノコを用い>
6568.13	kinoko 注なし	*hattake
6576.32	kinoko <キノコ>	take

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 キノコ		[B] 除いた共通語	(7)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6646.74	kinoko <希>	take
6650.70	kinoko <希><希>	ha'take (「キノコ」は 「はたけ」に「キノコ」)
6655.38	kinoko 希	si:take
6665.25	NR 総称はな。	kinoko <希>
6698.20	kinoko <希>	mimi
7321.93	キノコ (希)	キノ
7349.86	kinoko <希>	naba
7349.91	同上	naba
7362.67	キノコ <共>	キノ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 きのこ		(B) 除いた共通語	(8)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7372.27	キノ <共>	ナハ , <?> ナハ
7391.94	キノ <共>	ナハ
7401.60	kinoko <上>	takemo <sup>n</sup> <上> takemo <sup>n</sup> tori ni ikoja とす>
7404.56	kinoko <共>	take
7430.75	上 kinoko	naba
7430.80	kinoko <共>	naba (きのこの多う地を naba jama とす) 地。
7431.08	kinoko <共>	take
		naba <魚毒のまきい。 dokunaba 毒芽はトクハ という。>

